

みずほCustomer Desk Report 2022/11/04号 (As of 2022/11/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.89	0.9815	145.14	1.1380	0.6338
SYD-NY High	148.44	0.9838	145.22	1.1418	0.6371
SYD-NY Low	147.12	0.9730	144.05	1.1152	0.6273
NY 5:00 PM	148.26	0.9750	144.54	1.1159	0.6288
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	32,001.25	▲ 146.51	日本2年債	-	-
NASDAQ	10,342.94	▲ 181.86	日本10年債	-	-
S&P	3,719.89	▲ 39.80	米国2年債	4.7159%	0.1066%
日経平均	-	-	米国5年債	4.3651%	0.0629%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.1480%	0.0537%
ソコ日経先物	27,260.00	▲ 60.00	独10年債	2.2495%	0.1160%
ロンドンFT	7,188.63	▲ 44.49	英10年債	3.5025%	0.1070%
DAX	13,130.19	▲ 126.55	豪10年債	3.9210%	0.1460%
ハンセン指数	15,339.49	▲ 487.68	USDJPY 1M Vol	12.18%	0.07%
上海総合	2,997.81	▲ 5.56	USDJPY 3M Vol	12.54%	▲0.02%
NY金	1,630.90	▲ 19.10	USDJPY 6M Vol	12.21%	0.15%
WTI	88.17	▲ 1.83	USDJPY 1M 25RR	▲0.49%	Yen Call Over
CRB指数	278.32	▲ 2.34	EURJPY 3M Vol	12.57%	0.03%
ドルインデックス	112.93	1.59	EURJPY 6M Vol	12.66%	0.14%

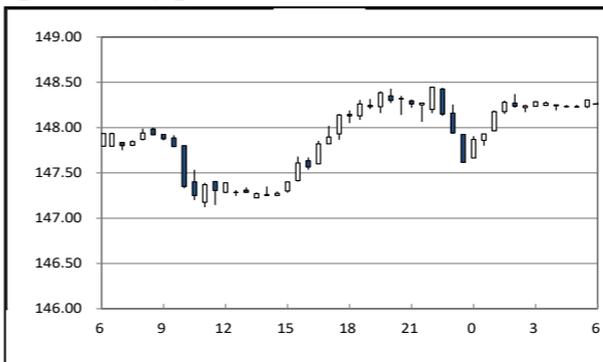
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月2日	21:15	米 ADP雇用統計	10月 239k	185k
11月3日	03:00	米 FOMC政策金利	2-Nov 3.75%-4.00%	3.75%-4.00%
	03:30	米 パウエルFRB議長 記者会見	「利上げ停止の検討は時期尚早」	
	21:30	米 貿易収支	9月 -\$73.3b	-\$72.2b
	23:00	米 製造業受注(前月比)	9月 0.3%	0.3%
	23:00	米 製造業受注(除輸送)	9月 -0.1%	0.0%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	9月 0.4%	0.4%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	9月 -0.5%	-0.5%
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	10月 54.4%	55.3%

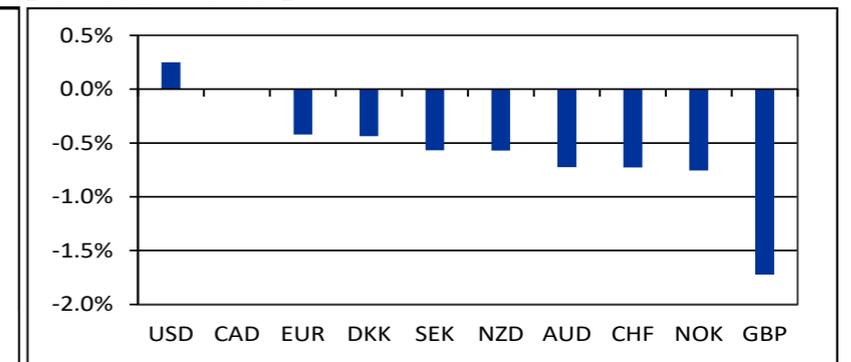
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月4日	16:00	独 製造業受注(前月比)	9月 -0.5%	-2.4%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	10月 195k	263k
	21:30	米 失業率	10月 3.6%	3.5%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	10月 0.3%/4.7%	0.3%/5.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.50-149.00	0.9700-0.9800	144.00-146.00

【マーケット・インプレッション】

2日のドル円はFOMCが予想通りに75bpの利上げを決定するも声明文がハト派な内容となりドル売りで反応。しかしパウエルFRB議長の会見では早ければ次回会合で利上げペースを緩めることを示唆するも「最終的な金利水準は将来の想定よりも高くなった」と述べるなど利上げ継続姿勢を示したことでドルは買い戻される展開となった。昨日は東京休日の中で前日のFOMCの結果を受けて148.44まで上昇。ISM非製造業指数が弱い結果となったことで弱含む場面があったものの底堅い推移となった。本日は引き続き底堅い推移を予想。150円を超える水準では介入警戒感もあるものの、この水準では利上げ継続姿勢を示すFRBの態度にドル買いが優勢となる展開を見通したい。ただし、米雇用統計の結果次第では弱含む展開も考えられることから指標発表前後の値動きには注視したい。

アジア	効的な内容となったパウエルFRB議長記者会見を受け、前日NY時間に上昇して引けていたドル円は、アジア時間に147.89レベルでオープン。直後に147.91をつけた後は円買いが強まり軟調な値動きとなったものの、米金利の先高感も意識される中で下値も限定的となり、147.12まで下げた後は値動きが一服。午後にかけては東京休日で取引低調な中横ばいで推移し、欧州早朝になると徐々にドル買いローが増え始めて上昇。結局、147.61レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.61レベルでオープン。全般にドル買いで148.43まで上昇。148.25レベルでNYに渡った。一方でクロス円はポンド円主導で下落。正午に英中銀が予想通り0.75%利上げをするも、今後の利上げが市場織込みほどにならないとの中銀コメントでポンドは大きく下落。168円台で始まっていたポンド円は、米国勢参入後には165円台に下落した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台後半でスタート。再び北朝鮮によるミサイル発射の報道を受けてリスク回避の動きが見られる中、円買いが先行し一時147.12まで下落。その後、欧州時間では米金利の上昇を受けてドル買い優勢となり、148.43まで上昇後、148.25レベルでNYオープン。朝方は米長期金利が4.22%台まで上昇する動きを眺めながらドル買いが強まり、148.44まで上昇するが、クロス円の売りが重しとなり、次第に148円ちょうど付近まで反落。その後、米10月ISM非製造業景況指数が予想を下回ったこともあいまって安値147.61まで下落するが、直ぐに買い戻され148.20近辺まで反発。午後は動意が乏しく、148.20近辺で小動き。結局、148.26レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは0.98レベルでスタート。米金利上昇が重しとなり、0.9730まで下落後、0.9740レベルでNYオープン。朝方は予想以上に弱い米経済指標の結果を受けてドルが売られたことから一時0.9794まで上昇するも、すぐに売り戻された。午後は「まだ利上げの余地はある」等の発言が伝わるもユーロドルは反応薄。結局、小動きのまま、0.9750レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小野崎・多川